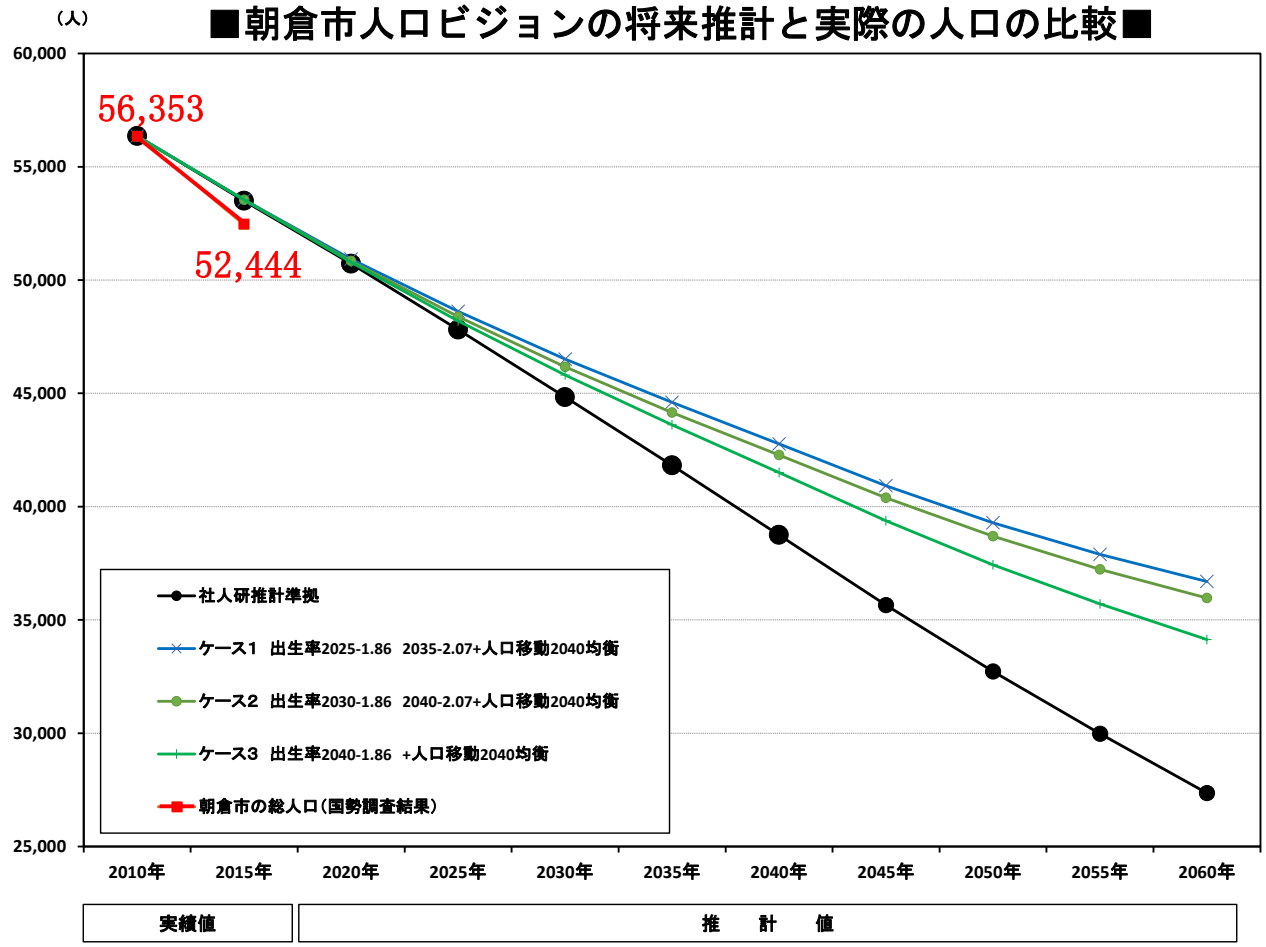
資料4

第1期朝倉市総合戦略の取組と総括（中間）



（単位：人）

		実績値	推　計　値									
		2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
社人研推計準拠 出生率2024-1.33　長期的に1.35へ収束　純移動率0.5倍-2020		56,353	53,492	50,718	47,812	44,833	41,823	38,748	35,659	32,729	29,978	27,359
ケース1 出生率2025-1.86　2035-2.07	+人口移動 2040均衡		53,539	50,927	48,618	46,510	44,608	42,765	40,919	39,286	37,893	36,694
ケース2 出生率2030-1.86　2040-2.07			53,539	50,845	48,384	46,170	44,155	42,279	40,386	38,692	37,235	35,966
ケース3 出生率2040-1.86			53,539	50,779	48,197	45,812	43,607	41,508	39,378	37,433	35,704	34,135
朝倉市の総人口			52,444	－	－	－	－	－	－	－	－	－

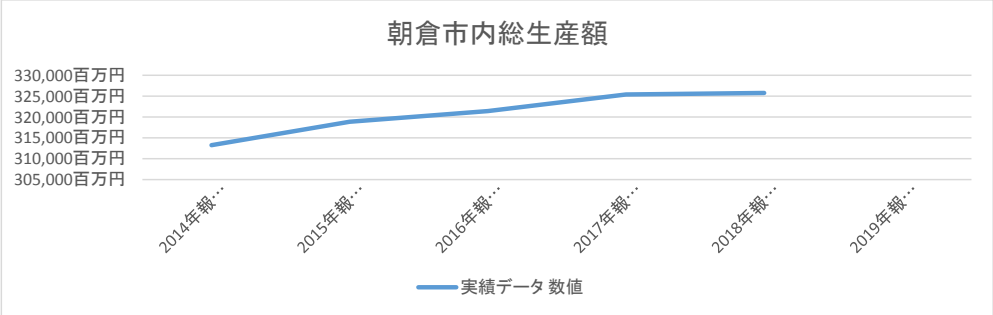
（出典）内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供資料を基に作成

基本目標１ 特色を活かしたしごとができる朝倉

数値目標	評価指標	基準値	目標値	出典等
	総生産額	3,132億4,800万円（2012年）	3,200億円（2019年報告書）	県民経済・市町村民経済計算報告書（年度集計は翌々年度末に報告） ふくおかデータウェブ（福岡県） http://www.pref.fukuoka.lg.jp/dataweb/search-1-1024.html
指標説明	県民経済・市町村民経済計算報告書は、福岡県で毎年度調査し、一定期間（会計年度）における県内市町村の経済を、「財やサービスの生産」「所得の分配」の両面から把握する総合的な経済指標。 行財政・経済施策に役立てられ、市町村の経済規模や産業構造、所得水準等を比較、分析する指標となる。			

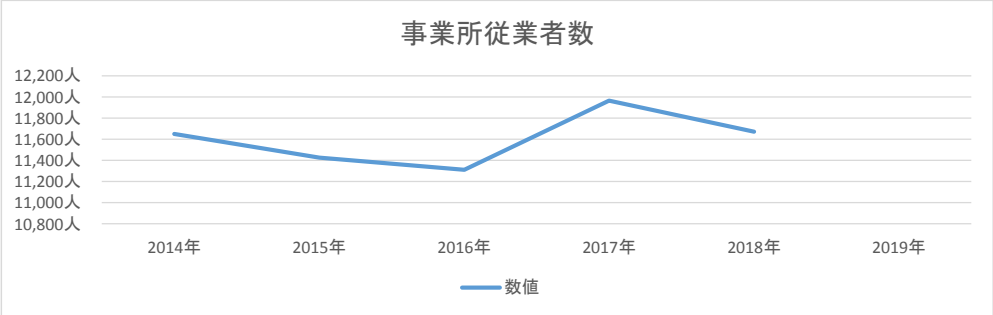
実績データ	年	2015年報告（2013年）	2016年報告（2014年）	2017年報告（2015年）	2018年報告（2016年）	2019年報告（2017年）
	数値	318,850百万円	321,440百万円	325,399百万円	325,759百万円	
	増減比	101.79%	102.62%	103.88%	103.99%	

※増減比＝基準値比



数値目標	評価指標	基準値	目標値	出典等
	事業所従業者数	11,650人（2014年）	12,000人（2019年）	朝倉市の労働概況（10月1日調査基準日） 業種別雇用形態別従業者数 全従業員数
指標説明	朝倉市の労働概況は商工観光課で毎年調査している。（基準日毎年度10月1日）市内に所在する事業所で、従業員数20名以上の事業所に調査			

実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	11,425人	11,311人	11,964人	11,672人	
	増減比	98.07%	97.09%	102.70%	100.19%	



▼

考察
「総生産額」は、企業誘致の成果や大型店の景況の影響により、増加している。また、「事業所従業者数」については、目標値を下回っているものの、就職支援、市内事業者の活性化等の成果により、有効求人倍率や求人数と比例して微増している状況である。 各項目で見ると、卸売業・小売業販売額は事業所数の減少等により減少し、農業産出額についても、自然災害や、農産物貿易の自由化、農産物価格の低迷、担い手の減少等の影響で減少している。経営安定の支援を行い、中小企業の振興とともに農林業の振興を図ることで、地域経済を活性化していく必要がある。 引き続き、企業誘致の推進による雇用の創出や創業支援等による雇用の安定と拡大、生産基盤の整備や6次産業化の推進等を推進し、誰もが働きやすい地域をつくる必要がある。観光入込客数についても目標値を下回るものの、観光PR等の成果により増加しているため、今後も、観光施設や観光推進体制を整備し、観光資源の魅力を高める必要がある。

（1） 雇用の創出・地元就職

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		昼夜間人口比率	105.2 （2010年）	105以上 （2019年）		
指標説明		昼夜間人口比率（夜間人口100人当たりの昼間人口） （昼間人口）/（朝倉市人口）*100 常住地による人口（夜間人口）とは，調査時に調査の地域に常住している人口 従業地・通学地による人口（昼間人口）とは，従業地・通学地集計の結果を用いて，算出された人口			国勢調査（総務省統計局）による昼夜間人口比率 政府統計の総合窓口（e-stat） ５年ごとの集計	
実績データ	年	－	2015年	－	－	－
	数値	－	106.9	－	－	
	増減比	－	1.7　UP	－	－	

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		有効求人倍率	0.96 （2014年）	1以上 （各年度）		
指標説明		福岡労働局管轄の公共職業安定所にて毎月公表されるデータの年報 公共職業安定所朝倉所管轄内自治体（筑前町、朝倉市、東峰村） 有効求人倍率＝有効求人数／有効求職者数 ※求職者（仕事を探している方）１人当たりにどれだけの求人数があるか。			職業安定業務年報＜労働市場の概況編＞ 有効求人倍率 福岡労働局職業安定部	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	1.47	2.37	3.23	2019年12月判明	
	増減比	153.13%	246.88%	336.46%		
主な施策		女性の就職応援会(雇用促進事業) 産業政策マネージャー(企業誘致事業)				

（2） 農林業、６次産業化・ブランド推進

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		新規就農者数	8人 （2014年）	10人 （各年度）		
指標説明		福岡県の朝倉普及指導センターにて、毎年6.1-翌年5.31の期間で集計して公表している。			朝倉普及指導センター集計（毎年） 【農業振興課】	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	12人	7人	5人	10人	
	増減比	150.00%	87.50%	62.50%	125.00%	
主な施策		広域連携でのグリーンツーリズム定着に向けた取組(広域地域振興事務) 杷木農林産物処理加工施設の活用(杷木農林産物処理加工施設管理運営事業) 農業インキュベートの推進(農のエリア活用事業) ６次産業化・ブランド化の推進(特産物育成事業) 新規就農者への経済的・技術的支援(新規就農総合支援補助事業) 農業生産基盤整備事業補助(農業生産基盤整備事業補助事業)				

（3） 観光振興

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		観光入込客数	2,998,600人（2013年）	3,500,000人（2019年）		
指標説明		観光入込客数は、日帰り客と宿泊客の合計。 日帰り客調査対象箇所（一般行楽：工場見学、原鶴温泉日帰り、三連水車、道の駅等の観光地等、　祭・行事：市民まつり、おくんち、花火大会等、　文化財等：秋月城址、平塚川添遺跡公園、三連水車他など） 宿泊客調査対象箇所（原鶴温泉、甘木地区温泉など） 訪日外国人者数は、項目としては入込客に加わっているが、単独での統計なし。			福岡県観光入込客推計調査 市町村別入込客　より 福岡県商工部観光・物産振興課	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	3,151,700人	3,167,300人	3,064,800人	3,164,800人	
	増減比	105.11%	105.63%	102.21%	105.54%	

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		宿泊利用客数	275,200人（2013年）	300,000人（2019年調査報告）		
指標説明		観光入込客調査の中で、宿泊利用者数の項目があり、旅館・ホテル棟の宿泊客の人数を集計している。 調査対象箇所（温泉旅館・ホテル宿泊客）			福岡県観光入込客推計調査 市町村別入込客（宿泊）　より 福岡県商工部観光・物産振興課	
実績データ	年	2015年報告（2014年）	2016年報告（2015年）	2017年報告（2016年）	2018年報告（2017年）	2019年報告（2018年）
	数値	332,600人	419,000人	457,800人	458,000人	
	増減比	120.86%	152.25%	166.35%	166.42%	
主な施策		三連水車の里あさくらの施設充実(三連水車の里あさくら管理事業) 秋月・原鶴など観光名所の振興(原鶴温泉振興イベント開催補助事業、秋月地区観光振興補助事業) バサロのひまわり栽培(ひまわり栽培管理事業) 観光施設及び公共施設の無料Wi-Fi拠点整備(観光施設維持管理事業、観光振興係庶務事務) 秋月博物館の施設整備（秋月博物館建設事業）				

（4） 若い世代との連携

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		若い世代との連携事業数	1件（2014年）	1件（各年度）	高校・大学や研究機関等との連携事業数 【商工観光課・ふるさと課】	
指標説明		高校・大学や研究機関等との連携事業数として指標を記載している				
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	1件	1件	1件	1件	
	増減比	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
主な施策		高校生の提言（高校生の提言事業） 朝倉の宝-女子大連携事業（”朝倉の宝”観光振興事業）				

（5） 高齢者も働きやすい環境づくり

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		シルバー人材センター会員数	469人（2014年）	500人（2019年）	朝倉市決算に係る主要な施策の成果説明書 シルバー人材センター会員数 【介護サービス課】	
指標説明		介護サービス課から毎年度末にシルバー人材センターに会員数の照会を行う。（会員数は年度末時点の会員数）				
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	465人	431人	410人	381人	
	増減比	99.15%	91.90%	87.42%	81.24%	
主な施策		シルバー人材センターで生涯活躍（シルバー人材センター運営支援事業）				

（6） 地場企業の育成・地域産業の強化

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		創業者創出数	ー （2014年）	5件 （各年度）		
指標説明		朝倉市創業支援事業計画の中で、新規に創業支援事業におけるワンストップ窓口設置による相談を行い、その創業者創出数の把握を行う。 （商工会議所や商工会、市内金融機関等と連携）			朝倉市創業支援事業計画 【商工観光課】	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	2件	4件	3件	11件	
※2015年比	増減比	-	200.00%	150.00%	550.00%	
主な施策		プレミアム商品券（復興応援券）で消費を喚起（プレミアム商品券発行運営補助事業） プレミアム商品券で地域経済の活性化（プレミアム商品券発行運営補助事業） 創業による地域経済の活性化（新規創業促進補助事業）				

基本目標２ 誰もが住みたい朝倉

		評価指標	基準値	目標値	出典等	
数値目標		社会増減数	△1,112人（2010～14年累計）	△927人（2015～19年累計）	朝倉市人口ビジョン【総合政策課】	
指標説明		社会増減数＝転入数－転出数　※マイナス数値は転出超過 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」1月1日現在（前年1月1日から12月31日までの1年間）の５年累計			総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」	
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	△ 1,310人	△ 1,302人	△ 1,488人	△ 1,477人	
	増減比	117.81%	116.64%	130.94%	128.51%	

※増減比＝基準値

▼

考察

転出数が転入数を上回る社会減の状態が続いている。社会減の規模は年によって上下するため、５年間の累計を社会増減数の指標としている。年ごとの推移を見ると2016年に400人弱の社会減となり、その後徐々に回復するものの、依然毎年200人強の社会減が続いている。
各項目については、都市基盤整備の取組において、近年の道路や公園の整備により中心市街地内人口が微増となるなど、一定の成果を得ることができているため、適正かつ計画的に都市機能の集積を図り、にぎわいを生み出す中心市街地の形成に向けた取組みと、住環境向上の取組みを進め、人口減少や高齢化の進行に伴い、多様化する居住スタイルのニーズや豪雨災害からの生活再建する中で、安全で安心して住める住環境を整備することが必要である。
また、人口減少、少子高齢化が進む中で、多世代の移住又は定住を促進し、公共交通の利便性を高める取組みや輸送サービス水準の適正化に向けた取組みを進め、将来的な移住にもつながる関係人口の創出拡大にも注力していく必要がある。

（１） サポート体制の充実

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		移住・定住ポータルサイト閲覧数	－ (2014年)	10,000件 （2019年）	朝倉市ホームページアクセス件数 【総合政策課】	
指標説明		朝倉市ホームページアクセス件数のタイトル別コンテンツアクセス数一覧から「移住・定住TOP」で月分を集計 移住・定住TOPページから朝倉市の紹介、移住・定住等の支援・制度等の情報、移住・定住PRパンフレットのダウンロード、宅建協会へのリンク				
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	5,320件	6,086件	5,843件	5,261件	
※2015年比	増減比	－	114.40%	109.83%	98.89%	
数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		移住希望相談件数	－ (2014年)	50件 （2019年）	移住・定住相談窓口となっているふるさと課への相談件数を集計 【ふるさと課】	
指標説明		移住・定住相談窓口となっているふるさと課への相談件数を集計				
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	14件	98件	29件	81件	
※2015年比	増減比	－	700.00%	207.14%	578.57%	
主な施策		空き家の利活用推進（空き家利活用事業） 移住・定住促進（移住・定住推進事業） 活力ある地域づくり助成事業（地域振興係庶務事務）				

（２） 住環境への支援

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		新築住宅件数	181件 （2014年）	200件 （2019年）	家屋に係る概要調書検収調書（その１）（その２）の合計棟数集計 【税務課】	
指標説明		家屋に係る概要調書検収調書　（その１）（その２）の合計棟数集計 （その１）木造家屋　専用住宅と共同住宅・寄宿舎の新築分 （その２）木造以外の家屋　住宅・アパートの新築分				
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	151件	170件	183件	212件	
	増減比	83.43%	93.92%	101.10%	117.13%	
主な施策		快適に暮らせる住環境の整備（あさ暮らし住宅補助事業） 不良家屋解体撤去費用の一部助成（不良空家解体撤去補助事業）				

（３） 若者への支援

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		市内高校の就職内定率	99.1% （2014年）	100% （2019年）	毎年度7月に開催される担当課長会資料 【商工観光課】	
指標説明		各高校から提出される就職者数から算定				
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	98.1%	98.6%	100.0%	100.0%	
	増減比	1.0 DOWN	0.5 DOWN	0.9 UP	0.9 UP	
主な施策		大学生等消防団員への給付型奨学金（学生消防団員奨学金給付事業） 高校生就職応援会（雇用促進事業）				

（４） 交通の利便性の向上

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		甘木鉄道甘木駅の年間乗客数	210,280人（2014年）	210,000人（2019年）	甘木鉄道株式会社からの毎年度報告 【防災交通課】	
指標説明		甘木鉄道株式会社からの毎年度報告される各駅甘鉄乗車人員の甘木駅分 人員は定期（通勤、通学）と普通乗車人員の合計を記載している。（データとしては、１日平均と年間がある。）				
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	227,094人	225,277人	251,025人	250,068人	
	増減比	108.00%	107.13%	119.38%	118.92%	
数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		コミュニティバスの年間利用者数	31,975人（2014年）	33,400人（2019年）	交通事業者からの毎年度報告 【防災交通課】	
指標説明		コミュニティバスの年間利用者数 朝倉市地域公共交通網形成計画の数値目標を目標値としている。形成計画の数値は経年の増減率を換算して算定している。				
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	32,518人	31,312人	26,391人	23,062人	
	増減比	101.70%	97.93%	82.54%	72.13%	
主な施策		公共交通の利便性向上（甘木鉄道支援事業） 交通の利便性の向上（コミュニティバス事業） バス停待合所設置補助（バス待合所等設置補助事業）				

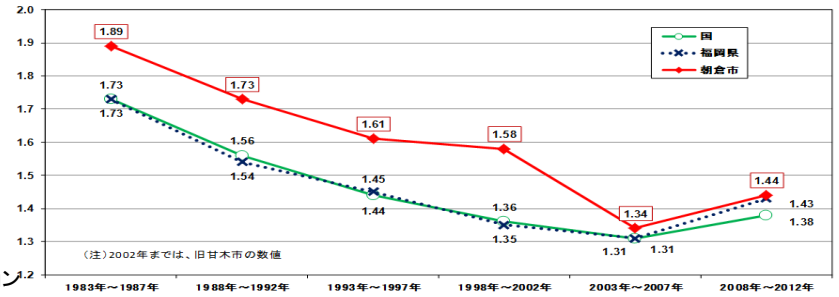
（５） 買い物しやすいまちづくり

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		買い物環境に不便を感じる市民の割合	25.0%（2014年）	20%（2019年）	朝倉市まちづくり市民アンケート 【総合政策課】	
指標説明		隔年度実施する朝倉市まちづくり市民アンケート「身近に日常品の買い物ができる場所がなく困っているか。」の設問に「困っている」「やや困っている」と答えた市民の割合				
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	19.7%	-	21.2%	-	
	増減比	-	-	-	-	
主な施策		空き店舗の利活用（商店街空き店舗対策補助事業）				

基本目標３ 安心して結婚・出産・子育てができる朝倉

数値目標	評価指標	基準値	目標値	出典等	
	合計特殊出生率	1.44 （2012年）	1.50～1.60 （2019年）	厚生労働省「人口動態調査」、厚生労働省「人口動態統計特殊報告」（市町村別の合計特殊出生率は5年毎に発表）	
指標説明	15 歳から49 歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので１人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。				
実績データ 年	－	－	2017年	－	－
実績データ 数値	－	－	2020年3月頃判明	－	
実績データ 増減比	－	－	－	－	

※増減比＝基準値Ⅰ



朝倉市人口ビジョン
【総合政策課】

▼

考察

「合計特殊出生率」については、全国や県に比べ高い水準で移行していたが、近年差異がなくなっている。住民票記載の出生者数は2014年の424人から2018年では367人と激減しているため、目標値達成は厳しいと考える。また、出生数に影響がある若年層女性人口も減少していることからも、引き続き状況を注視しながら有効な対策を検討していく必要がある。
少子化は、未婚化・晩婚化、出生数の低下のほか、様々な要因が絡み合って進行していることから、子育て世帯への経済的支援、保育サービス等の充実、乳幼児保健・育児支援の充実、妊娠・出産の支援など総合的な取組みを進めており、今後も若い世代の結婚・出産・子育ての、個々人の希望をかなえる少子化対策を検討していく。

（1） 親・子・孫三世代暮らしの推進

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		三世代同居・近居世帯の割合	28.6%（策定時）	30%（2019年）	朝倉市まちづくり市民アンケート【総合政策課】 基準値は総合戦略策定時（2015年度始め）にアンケート実施	
指標説明		無作為抽出した18歳以上の市民3,000人に対してアンケート実施。 ①3世代同居（親・子・孫）＋③一人暮らし、または夫婦のみで親または子が近所（市内）に住んでいるの合計				
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	24.4%	-	22.3%	-	
	増減比	4.2 DOWN	-	6.3 DOWN	-	
主な施策		祖父母世代の子育て支援ガイドの印刷（子ども・子育て支援計画推進事業） 新婚世帯への新生活支援（結婚新生活支援事業）				

（2） 出会い創出・婚活支援・結婚

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		婚姻件数	206件（2014年）	250件（2019年）	厚生労働省「人口動態調査」 e-stat政府統計　人口動態調査-人口動態統計-確定数-総覧-年次	
指標説明		人口動態統計は、市区町村長が作成する人口動態調査票に基づいて表わされる。				
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	198件	201件	206件	236件	
	増減比	96.12%	97.57%	100.00%	114.56%	
主な施策		縁結び応援事業（縁結び応援事業）				

（3） 出産・子育てがしやすい環境づくり

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		子育てサービスや体制が整っていると思う保護者の割合	66.9%（2014年）	75%（2019年）	朝倉市まちづくり市民アンケート【総合政策課】	
指標説明		隔年度実施する朝倉市まちづくり市民アンケート「朝倉市は子育てサービスや体制が整っていると思うか。」の設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「ふつう」と答えた市民の割合				
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	69.7%	-	71.0%	-	
	増減比	2.8 UP	-	4.1 UP	-	
主な施策		チャイルドシート貸出（チャイルドシート貸出事業） 子ども医療費の助成（子ども医療給付事務） 中学生以下インフルエンザ予防接種助成（中学生以下インフルエンザ予防接種料金助成事業） 休日保育（私立保育園運営委託等事業） 働く・育てるための施策の充実（私立保育園一時預かり事業、私立保育園病児・病後児保育事業、子育て短期支援事業、乳幼児健康支援一時預かり事業、ファミリーサポートセンター事業、学童保育所建設事業） 子育て親子の交流促進（私立保育園地域子育て支援拠点事業、つどいの広場事業） 婚姻歴のないひとり親への寡婦（夫）控除みなし適用（低所得保護者就学援助事業（幼稚園）、施設型給付事業） 小・中学校新入学生学用品費入学前支給（小学校就学援助事業、中学校就学援助事業） 子ども読書の推進（移動図書館事業、ブックスタート事業）				

（4） 子育てに目を向けた学校教育

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		学校生活が楽しいと思う児童の割合	86.4% （2014年）	90% （2019年）	全国学力・学習状況調査 【教育課】 毎年度実施	
指標説明		毎年度実施する小学生アンケート 「学校へ行くのは楽しいと思うか。」の設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた児童の割合				
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	80.9%	86.8%	84.4%	未実施	
	増減比	5.5 DOWN	0.2 UP	2.0 DOWN	-	

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		学校生活が充実していると思う生徒の割合	84.9% (2014年)	90% （2019年）	全国学力・学習状況調査 【教育課】 毎年度実施	
指標説明		毎年度実施する中学生アンケート 「学校へ行くのは楽しいと思うか。」の設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合				
実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	84.8%	81.7%	83.3%	未実施	
	増減比	0.1 DOWN	3.2 DOWN	1.6 DOWN	-	
主な施策		英語教育の推進（公立保育所管理運営事業、小学校英語活動事業） 学校教育の再編（道路新設改良事業、杷木統合新設小学校施設建設事業、秋月小中一貫校施設建設事業） 教育支援の充実（教育支援センター運営事業、教育相談事業） おらが学校委員会（中学校学事振興事業）				

（5） 地域で子育て

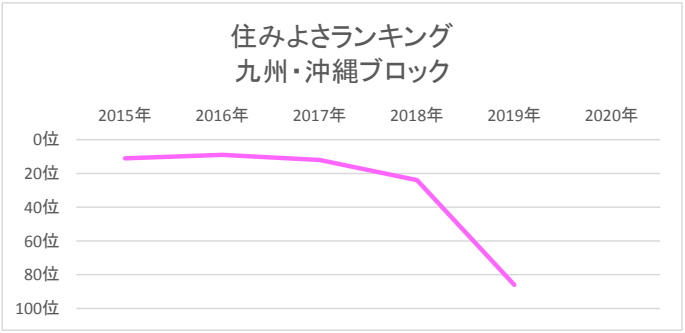
数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		学校・家庭・地域が連携した教育がされていると思う市民割合	49.3% （2014年）	60% （2019年）	朝倉市まちづくり市民アンケート 【総合政策課】	
指標説明		隔年度実施する朝倉市まちづくり市民アンケート 「学校･家庭･地域が連携した教育がなされていると思うか。」の設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた市民の割合				
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	48.8%	-	51.1%	-	
	増減比	0.5 DOWN	-	1.8 UP	-	
主な施策		おらが学校委員会（小学校学事振興事業）				

基本目標４ 地域の個性で輝く朝倉

	評価指標	基準値	目標値	出典等
数値目標	住みよさランキング九州・沖縄ブロック	11位 (2015年)	10位以内 （2019年）	東洋経済別冊 都市データパック [雑誌] 住みよさランキング（九州・沖縄ブロック） 東洋経済新報社 毎年更新
指標説明	東洋経済が公的統計をもとに、現状の各市がもつ「都市力」を、①安心度、②利便度、③快適度、④富裕度、⑤住宅水準充実度の5つの観点に分類し、各指標について、それぞれ平均値を50とする偏差値を算出、その平均を総合評価としてランキングしたもの。			

	年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実績データ	数値	9位	12位	24位	86位	
	増減比	2位　UP	3位　DOWN	12位　DOWN	62位　DOWN	

※増減比＝基準値



▼

考察

「住みよさランキング」は、2019年に指標の算出方法が変更されているため大幅ダウン。5つの観点のうち、順位が大きく変動しているカテゴリーは「安心度」で、これを構成する要素のうち、「15～49歳女性人口当たり出生数」が「20～39歳女性人口当たり0～4歳児数」に、「年少人口増減率」が「子ども医療費助成（対象年齢・所得制限の有無）」に変更され、「人口当たり刑法犯認知件数」「人口当たり交通事故件数」が追加されている。2019年算出の基礎となる指標年次は2016～2017年であるため、「快適度」（2017年655位→2019年669位）「富裕度」（2017年511位→2019年406位）での豪雨災害の影響は大きいと考えられるが、安心度（2017年155位→2019年484位）における影響が指標を大きく下げている。
各項目では、災害時の助け合いなどにより、協働のまちづくりへの理解が深まり、ボランティアやNPO団体会員数が増加傾向にあるが、人口減少、少子高齢化が進んでいるため、人と人、人と地域のつながりなど地域住民の結びつきの強化を図り、各地域の特性を活かしたまちづくりを推進する必要がある。

（1） 住み慣れた地域で安心して生活できる基盤の整備

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		朝倉市が住みやすいと思う市民の割合	51.4% (2015年)	60% (2019年)	朝倉市まちづくり市民アンケート【総合政策課】	
指標説明		隔年度実施する朝倉市まちづくり市民アンケート「朝倉市は住みやすいか。」の設問に「住みやすい」と答えた市民の割合				
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	51.5%	-	47.5%	-	
	増減比	0.1　UP	-	3.9　DOWN	-	
主な施策		安心して生活できる防犯対策（防犯灯設置補助事業） スイゼンジノリの保全（絶滅危惧種保全事業） 新庁舎整備（庁舎建設事業） 十文字公園整備（十文字公園整備事業（補助）、十文字公園整備事業（単独））				

（2） 地域コミュニティの活性化

数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		地域コミュニティ活動に参加している市民割合	38.0% (2014年)	50% (2019年)		
指標説明		隔年度実施する朝倉市まちづくり市民アンケート「コミュニティ協議会、区、老人クラブ、子ども会、地区社会福祉協議会等による地域での活動やサロン、ボランティア活動等に参加しているか。」の設問に「積極的に参加している」「なるべく参加している」と答えた市民の割合			朝倉市まちづくり市民アンケート【総合政策課】	
実績データ	年	2015年	-	2017年	-	2019年
	数値	39.4%	-	33.5%	-	
	増減比	1.4　UP	-	4.5　DOWN	-	
主な施策		観光振興対策補助（秋月地区観光振興補助事業、高木地区観光振興補助事業） 地域環境整備事業補助（地域環境整備補助事業） 地域活動支援（地域活動支援事業）				

（3） 地域を支援する人材の育成と活用

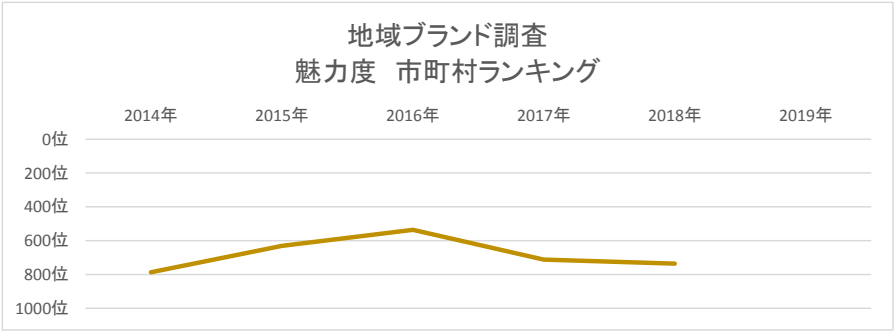
数値目標		評価指標	基準値	目標値	出典等	
		新たな地域支援人材	1人 (2015年)	3人 (2019年末)	ふるさと課等関係部署へ調査照会【総合政策課】	
指標説明		地方創生・CCRCイニシアティブ事業の事業管理専門員、 集落支援員、地域おこし協力隊等				
実績データ	年	2016年始	2017年始	2018年始	2019年始	2019年末
	数値	1人	1人	2人	2人	
	増減比	100.00%	100.00%	200.00%	200.00%	
主な施策		地域おこし支援（集落維持・活性化事業）				

基本目標５ 全力で魅力を発信する朝倉

	評価指標	基準値	目標値	出典等
数値目標	地域ブランド調査　魅力度　市町村ランキング	787位（2014年）	500位（2019年）	
指標説明	「地域ブランド調査」は、1,047の地域（1,000市区町村、及び47都道府県）を調査対象とし、全国3万人が各地域のブランドカを徹底評価する日本最大規模の消費者調査 調査項目は、「魅力度」「認知度」「情報接触度」「観光意欲度」「居住意欲度」「産品購入意欲度」「食品想起率」「食品以外想起率」の８項目についての設問を加重平均して点数を算出。			地域ブランド調査　書籍 ㈱ブランド総合研究所 毎年

実績データ	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	数値	631位	536位	712位	736位	
	増減比	156位　UP	251位　UP	75位　UP	51位　UP	

※増減比＝基準値



▼

考察

2016年までは大河ドラマ効果等もあり、順調に順位を上げていたが、2017年に大きく順位が戻っている。情報接触度（過去１年間にその市について情報、話題などを見たり聞いたりしたことがあるか；2016年592位→2018年385位）の順位が上がり、居住意欲度（その市に住んでみたいと思うか；2016年371位→2018年924位）の順位が大きく下がっている状況であるため、平成29年7月九州北部豪雨災害で報道された被災状況が大きく影響していると考えられる。居住意欲度の他、産品購入意欲度（その地域において、購入したい商品（食品や非食品、食事メニューなどを含む）があるか；2016年308位→2018年446位）や食品想起率（その市で購入したいものの具体的な産品名の記述率；2016年233位→2018年512位）についても順位が下降しているが、観光意欲度（今後その市に観光や旅行に行きたいと思うか；2016年596位→2018年662位）は大きな変動ではないため、災害からの復興と生活環境の安全性をPRする取組みを進めることで、魅力度が回復すると考えられる。

（1） 知名度向上・ＰＲ

数値目標	評価指標	基準値	目標値	出典等	
	ふるさと納税の寄附件数	11件（2014年）	10,000件（2019年）	ふるさと応援寄付金件数（寄附申込件数≠寄附者数）【ふるさと課】毎年度（4-3月ベース）で集計（システムから件数出力）	
指標説明	2015年6月から返礼品を開始したことにより、急激に増加 件数は延べ件数　（寄附申込件数≠寄附者数）				
実績データ 年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実績データ 数値	10,517件	26,255件	32,522件	21,131件	
※2015年比 増減比	－	249.64%	309.23%	200.92%	
主な施策	百人一首の活用（百人一首活用事業） 広域連携による観光情報の発信、観光プラットホームの構築（広域地域振興事務） ふるさと納税(ふるさと応援寄附金):寄附見込額（ふるさと応援寄附金事業） 郷土料理を活かしたＰＲ（観光施設維持管理事業、観光振興係庶務事務、物産振興事業） 古代山城サミット開催（歴史・文化普及啓発事業） 秋月博物館開館ＰＲ（秋月博物館管理・活用事業）				

（2） マスメディアの活用

数値目標	評価指標	基準値	目標値	出典等	
	マスコミへのリリース件数（新聞、テレビ、雑誌等）	482件（2014年）	500件（2019年）	マスコミへのリリース件数（新聞、テレビ、雑誌等）【商工観光課・人事秘書課】毎年度確認	
指標説明	定期発信（ＮＨＫ、新聞4社、today、JAF）、業者発信、更新、パンフレット送付件数を集計。 ※TODAYとは、月１回の西日本新聞に折り込み紙面分（正式名称は、西日本新聞ふくおかTODAY（南版）） ※業者発信とは、旅行業者等が、募集チラシに使用する写真提供の依頼件数。				
実績データ 年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実績データ 数値	410件	501件	724件	785件	
実績データ 増減比	85.06%	103.94%	150.21%	162.86%	
主な施策					

（3） 大都市圏・県内での情報発信

数値目標	評価指標	基準値	目標値	出典等	
	移住・定住フェアへの参加	0件（2014年）	1件（各年度）	移住・定住に関するフェア参加回数【ふるさと課】	
指標説明	ふくおか移住・定住フェア（福岡県主催に朝倉市ブース申込） 朝倉市版CCRCイニシアティブ事業　など				
実績データ 年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実績データ 数値	1件	2件	0件	5件	
※2015年比 増減比	－	200.00%	0.00%	500.00%	
数値目標	評価指標	基準値	目標値	出典等	
	全国各地の県人会・朝倉会との連携	ー（2014年）	3件（各年度）	各部署へ調査照会【総合政策課】	
指標説明	福岡県人会（東京・関西など）、朝倉会（東京・関西・福岡など）での連携 関西朝倉会へふるさと応援寄附金の案内配布など				
実績データ 年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
実績データ 数値	2件	2件	2件	5件	
実績データ 増減比	－	－	－	－	
主な施策	ブランド構築（ブランド構築事業）				